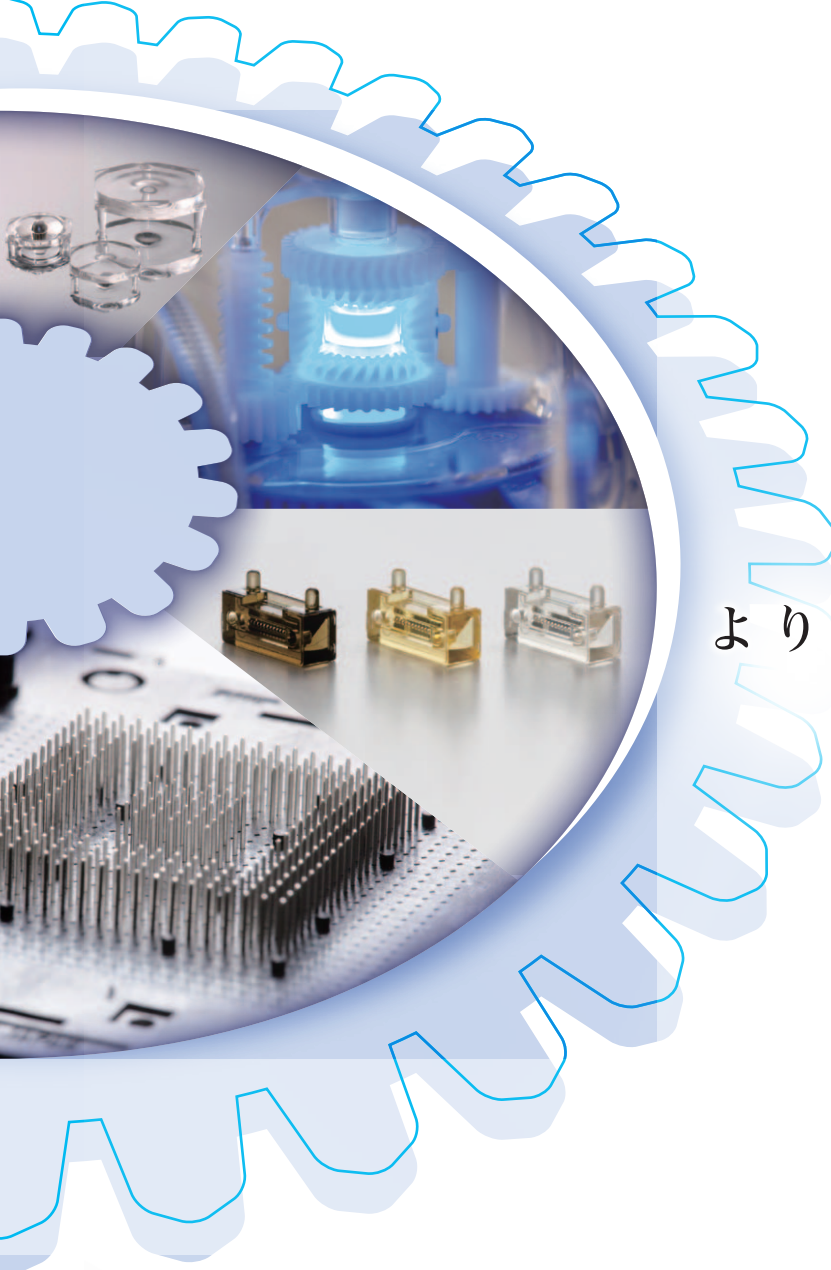


株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

平成29年3月期 (第56期) 中間報告書
平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

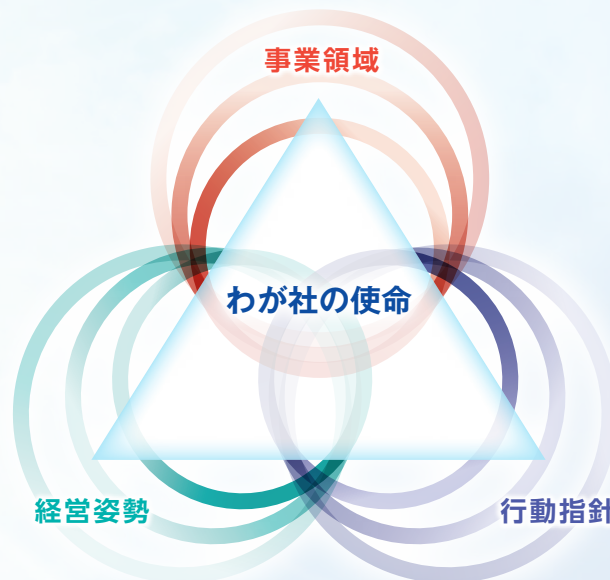
enplas

enplas

株式会社エンプラス

Contents

- 01. 企業理念
- 02. 株主の皆様へ
- 04. 連結業績の推移
- 05. 事業別概況
- 07. 特集：EnplasのPolicy
- 08. 連結財務の状況
- 09. 会社概要/株式情報/株主メモ
- 10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク
- 巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク



わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、創造的価値を世界市場に提供します。

経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。



株主の皆様へ

当社は、創業以来培ってきたエンジニアリングプラスチック総合技術のさらなる先進化と活用により、常に高精度、高機能、高品質を追求し、お客様に感謝されるより良い製品とサービスの提供を通して社会の発展に貢献してまいります。

代表取締役社長

横田大輔

Q上期の事業環境と経営実績について お話しください。

上期は円高の進行が全事業の業績を押し下げる大きな要因となりました。このような環境下、当社のコア事業であるエンブラ事業関連では、主力製品であるプリンター用部品の市況悪化が鮮明となり、海外市場においてはこれまでと同等の受注を維持したものの、国内市場では一段と競争が激化し、厳しい事業環境となりました。また自動車用部品は、世界の主要マーケットである北米市場向けを中心に、堅調な販売が続きました。半導体機器事業関連につきましては、今期の戦略地域として取り組んでいる台湾市場と欧州市場、そして車載と産業用途を中心としたバーンイン/テストソケットの販売が好調に推移する一方で、一部主要顧客の生産調整が業績に影響をもたらしました。オプト事業関連では、光通信関連光学デバイスは、新興国を中心としたスマートフォン需要拡大を背景にしたクラウド・サーバー市況の堅調な推移とともに受注が増加しましたが、主力のLED用拡散レンズは、世界的な液晶テレビの生産調

整や、主要顧客の購買方針転換の影響を強く受け、低調な推移となりました。

Q上期はイギリスに子会社を開設しましたが、 その目的についてお話しください。

上期におきましては、当社の企業価値向上の施策として平成28年5月にイギリスにEnplas (Europe) Ltd. を設立いたしました。欧州地域はこれまで半導体機器事業が中心でしたが、イギリスに子会社を設立することによりエンブラ事業、LED関連事業、半導体機器事業、光通信関連事業の拡販およびバイオ関連事業の事業開発を推進してまいります。

Enplas (Europe) Ltd. は欧州統括機能を担う拠点として、欧州地域内での地域戦略の立案と実行、事業開発、人材の横断的な活躍、事業資金の集約と再投資を進めることを目的としております。世界最先端の技術、人材、情報が集積するイギリスに拠点を構え、欧州地域の成長機会を取り込むことで、当社グループの企業価値向上に貢献してまいります。

Q下期の取り組みについてお話しください。

今期の経営基本方針は次の通りです。

- 1.Operational Excellence/業務改善プロセスの定着
- 2.Specification Technology/スペックビジネスの推進
- 3.Multiple Growth/多様な成長戦略の実行

グローバル競争の激化と、当社を取り巻く環境の変化に迅速に対応すべく、各事業における具体的な取り組みを進めることにより企業価値の向上を目指してまいります。

エンブラ事業関連は、事業構造改革の推進、新規顧客開拓、ソリューションと機能価値の提案による高付加価値製品の創出と拡販を図り、収益性を向上させてまいります。半導体機器事業関連は、進捗しているグローバル体制の強みを最大限に活かし、事業の成長を進めてまいります。オプト事業関連では、LED用拡散レンズにおいては、グローバル生産体制の再構築、新戦略製品開発を推進し、光通信関連の光学デバイスにおいては、高速化する光通信への対応、機能付加による顧客価値の向上に努めてまいります。

Q株主還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により強固な財務体質を堅持するとともに、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して、配当の決定を行っております。

また、当社では自己資本利益率(ROE)および1株当たり当期純利益(EPS)を事業活動の成果を示す重要な経営指標と位置づけており、その維持・向上を図るため自己株式

の取得も進めております。内部留保しております資金は、経営基本方針に則り、今後の事業展開を踏まえ、中長期的展望に立って生産設備投資、研究開発投資、情報化投資や新事業創出のためのM&A資金などに積極的に振り向けるとともに、将来の収益力の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。なお、中間配当につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。また、当期の期末配当金については1株当たり40円、通期で1株当たり80円を予定しております。

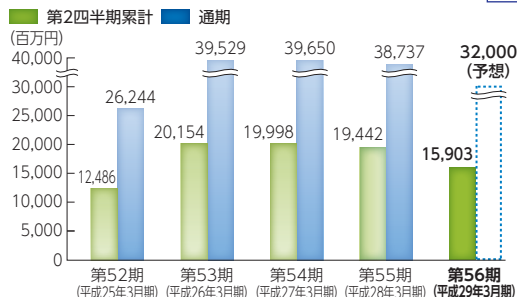
Q株主の皆様一言お願いします。

私たちは、創業以来培ってきた高精度・微細加工技術をもとに、当社にしか実現できない高付加価値製品の開発に挑戦し、お客様に感謝される製品・サービスを提供することで、豊かな社会の発展に貢献してまいります。そして、日々変化する市場のニーズに応えるべく、さらなる最先端技術を追求め、世界に新たな創造的価値を提供するイノベーションカンパニーを目指してまいります。

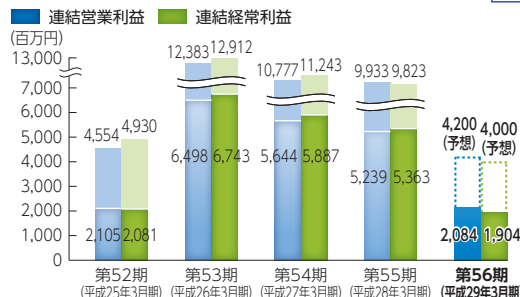
今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻をたまわります様、よろしくごお願い申し上げます。

連結業績の推移

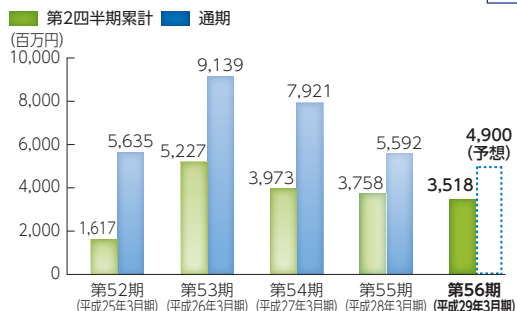
■ 連結売上高 1



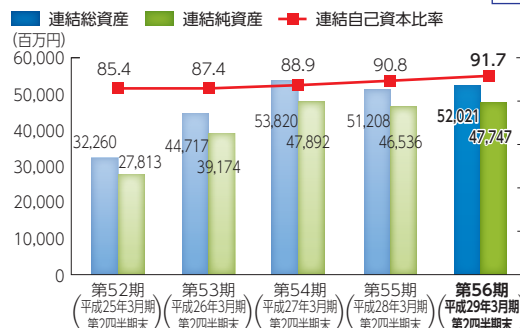
■ 連結営業利益 / 連結経常利益 2



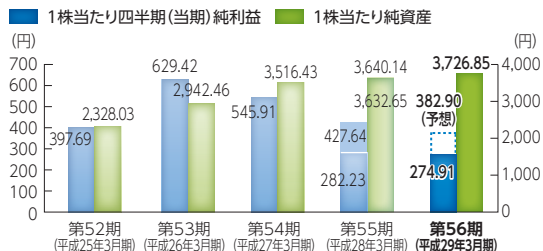
■ 親会社株主に帰属する連結四半期(当期)純利益 3



■ 連結総資産 / 連結純資産 / 連結自己資本比率 4



■ 1株当たり四半期(当期)純利益 / 1株当たり純資産



■ 平成29年3月期 通期予想

(単位:百万円)

科目	平成28年3月期 通期	平成29年3月期 第2四半期累計	平成29年3月期 通期(予想)
売上高	38,737	15,903	32,000
営業利益	9,933	2,084	4,200
経常利益	9,823	1,904	4,000
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	5,592	3,518	4,900
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	427.64	274.91	382.90

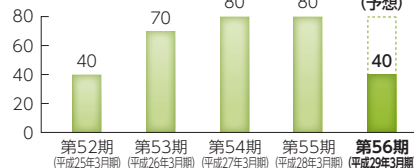
※業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

株主還元について

**1株当たり
配当金80円**

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して、中間配当を含む年間配当は1株当たり80円を予定しております。

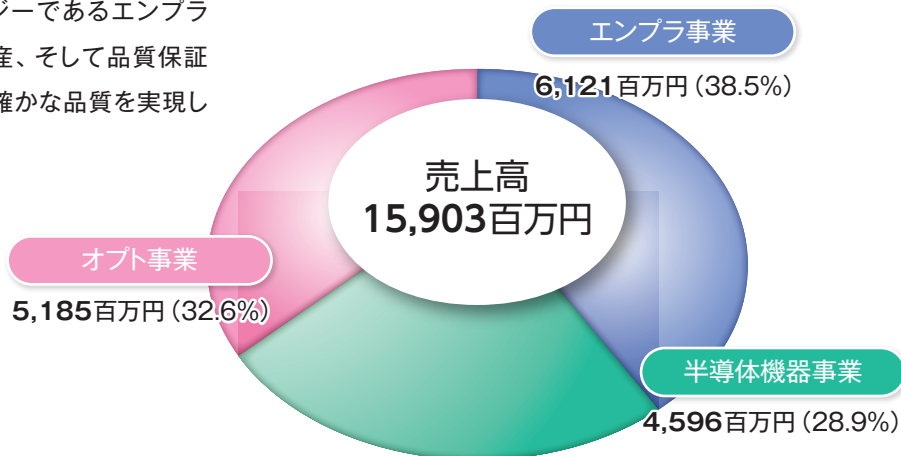
■ 配当金 (円)



事業別概況

事業セグメント別売上高構成比 平成29年3月期第2四半期累計 (平成28年4月1日から平成28年9月30日)

当社の各事業は、先進のオプティクスやエレクトロニクス技術を、基盤テクノロジーであるエンブラ技術に融合し、金型設計から量産、そして品質保証まで含めた一貫生産体制により確かな品質を実現しています。



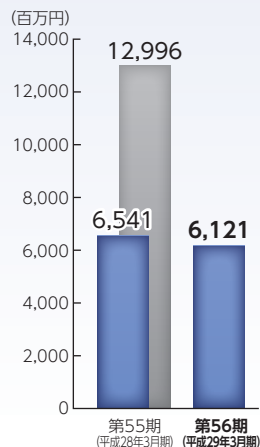
エンブラ事業

当社主力製品であるプリンター用部品は、市況悪化が鮮明となり、海外市場においてはこれまでと同等の受注を維持したものの、国内市場においては主要顧客向け販売を中心に一段と市場競争が激化しました。自動車用部品は北米市場向けの販売が堅調に推移したものの、円高の影響を強く受けました。この結果、当第

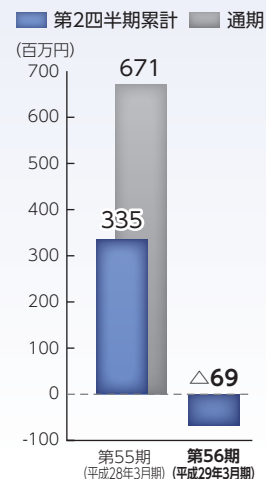
2四半期連結累計期間の連結売上高は6,121百万円 (前年同期比6.4%減)、セグメント営業損失は69百万円 (前年同期は335百万円の営業利益)となりました。



■ 売上高

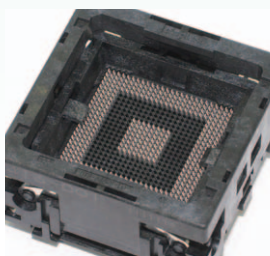


■ 営業利益 (△純損失)

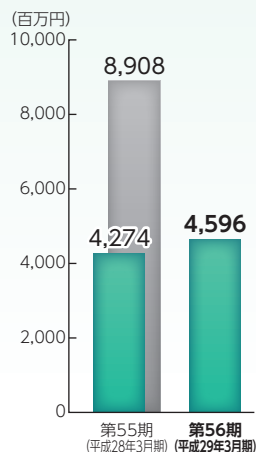


半導体機器事業

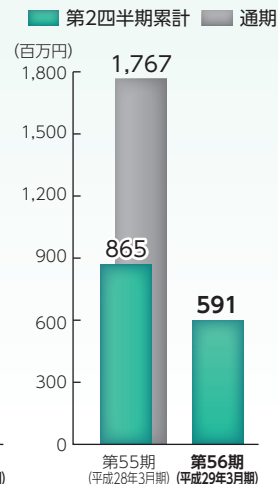
当社各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、当社主要顧客において、車載、産業用途を中心に熊本地震により落ち込んだ受注の反動増があったものの、一部海外主要顧客の生産調整の影響を受け、また急激な円高の影響もあり、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は4,596百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント営業利益は591百万円（前年同期比31.7%減）となりました。



■ 売上高



■ 営業利益

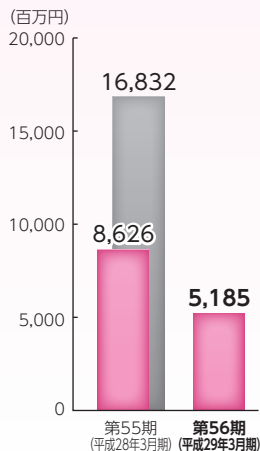


オプト事業

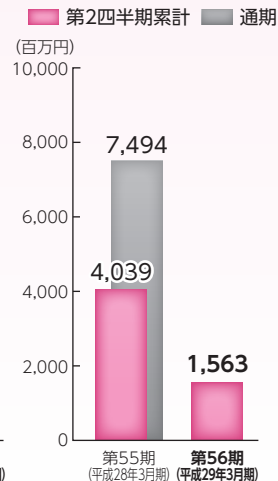
光通信関連の光学デバイスは、受注は堅調に推移しました。LED用拡散レンズは、新規顧客の受注が増加したものの、世界的な液晶テレビの生産調整の影響、主要顧客の購買方針の転換の影響を強く受け、低調に推移しました。この結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は5,185百万円（前年同期比39.9%減）、セグメント営業利益は1,563百万円（前年同期比61.3%減）となりました。



■ 売上高



■ 営業利益



品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンプラスグループは世界の全ての拠点において共通の品質方針を掲げ活動しています。
2. エンプラスは世界の全ての拠点において、ISO9001を基本フレームとした共通の品質マネジメントシステムで品質保証活動を推進しています。
3. エンプラスは品質第一主義で、全ての事業活動において品質改善活動を展開し、お客様に安心して使用していただける製品を生産・供給していきます。
4. エンプラスは供給する全ての製品の品質について責任を負うべく、各々の生産拠点で対応するほか、全社を上げて対応できるよう、本社への情報集中機能と本社からの支援活動機能を準備しています。

ISO9001 認証取得
【登録組織】
株式会社エンプラス
【登録範囲】



1. 精密プラスチックギヤ、キャブレター用プラスチックフロート、プラスチックオプティクス、光学素子及びその他エンジニアリングプラスチック精密成形品の設計・開発、製造及び製造管理
2. ICソケット及びキャリアの設計・開発及び製造管理

環境活動 — 自らに厳しく。それが環境配慮への信念です。 —

エンプラスは、環境マネジメントシステムに関するグローバルスタンダードであるISO14001の認証を取得することはもちろんのこと、その規格に則って、環境マニュアルを作成し、比較的環境負荷の少ない地区においても「自己宣言」を行い、自らを厳しく律し、環境保全活動に取り組んでいます。

このような姿勢は、私たちの共有財産である環境の保全に対する意識を、より実質的かつ本質的に、企業として、個人として、高めようとするものでもあります。

さらに、積極的なエネルギーの節約と、環境に対する負荷の少ない製品の設計、製品の供給段階での負荷の減少、部材の効率的な活用、廃棄部材の削減など、製品の設計から製造におけるあらゆるプロセスにおいても環境へ配慮しています。

常に未来を見据えて技術の向上にもトータルに努めています。

環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチックおよびその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通し、環境負荷の低減・省エネルギー(電力使用量等削減/CO₂削減)を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

ISO14001 認証取得
【登録組織】
株式会社エンプラス
鹿沼工場
【登録範囲】



エンジニアリングプラスチック及びその複合材によるプラスチック精密機構部品・製品の開発、製造

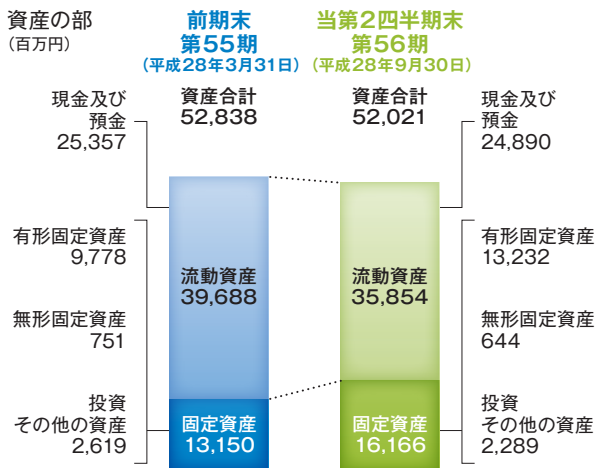
ISO 14001
REGISTERED

《適用範囲》

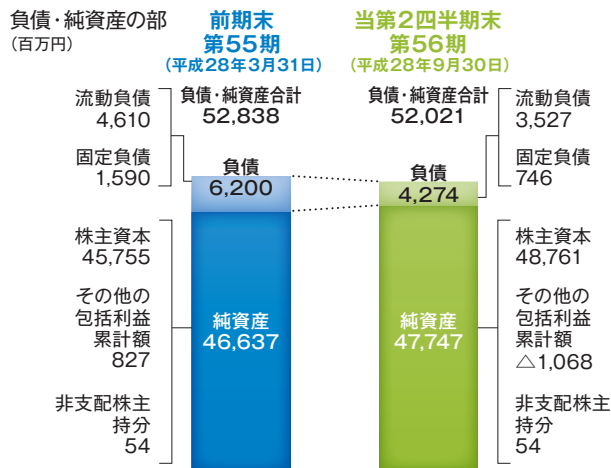
組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
工株 ン式 会 ラ社 ス	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
	浜松町事業所	自己宣言
会国 社内 グル ープ	株式会社エンプラス 研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス ディスプレイデバイス	自己宣言
	株式会社エンプラス 半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

連結財務の状況

■ 連結貸借対照表の概要

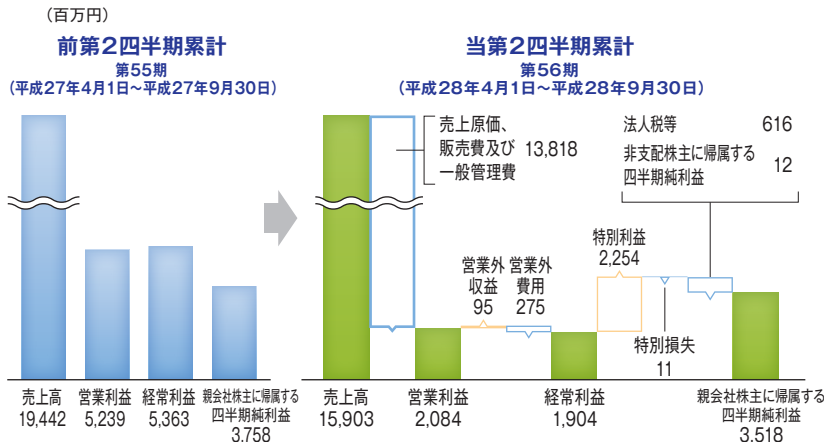


総資産は52,021百万円となり、前連結会計年度末比817百万円の減少となりました。これは、主に前連結会計年度末と比べて在外連結子会社の円貨換算レートが円高になったことに伴う為替換算調整勘定の減少等によるものです。また固定資産取得に伴い、現金及び預金、有価証券が減少し、固定資産が増加しております。



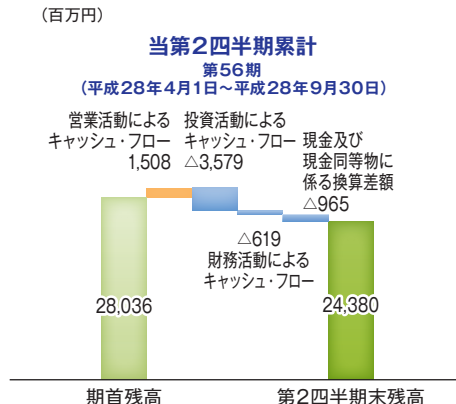
純資産は47,747百万円となり、前連結会計年度末比1,109百万円の増加となりました。その結果、自己資本比率は91.7%となり、前連結会計年度末比で3.5ポイント増加しております。

■ 連結損益計算書の概要



連結売上高は15,903百万円（前年同期比18.2%減）となり、連結営業利益は2,084百万円（前年同期比60.2%減）、連結経常利益は1,904百万円（前年同期比64.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,518百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は24,380百万円となり、前連結会計年度末比で3,656百万円減少しました。

会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(平成28年9月30日現在)

(平成28年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社エンプラス
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
設立 1962年2月21日
資本金 80億8,045万円

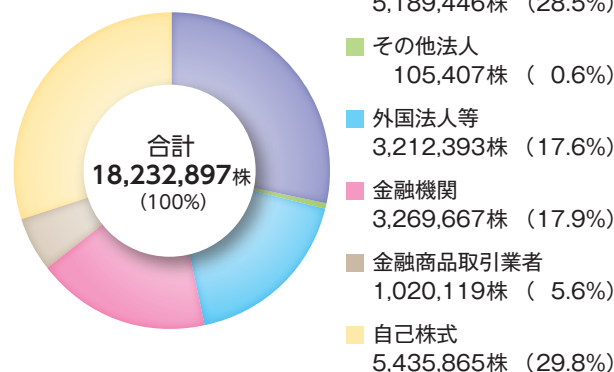
株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株
発行済株式総数 18,232,897株
株主数 5,395名

取締役および執行役員

代表取締役兼社長執行役員	横田 大輔
取締役兼専務執行役員	酒井 崇
取締役(監査等委員)	ヨーン・ヨン・リオン
取締役(監査等委員)	風巻 成典
取締役(監査等委員)	長谷川 一郎
常務執行役員	菊地 豊
執行役員	沓沢 茂雄
執行役員	星野 清孝
執行役員	君塚 元一
執行役員	宮坂 章司
執行役員	藤田 慈也

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社本店および全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター(お問い合わせ先) ☎0120-49-7009
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
公告方法 電子公告(<http://www.enplas.com>)
ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)にて開示しております。
上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部

グローバルネットワーク

国内ネットワーク

グローバル本社

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



東京都

- ・グローバル本社
- ・浜松町事業所

鹿沼工場

埼玉県川口市

- ・本社
- ・株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス
- ・株式会社エンプラス研究所
- ・QMS株式会社
- ・株式会社エンプラス半導体機器

名古屋営業所

西日本営業所

九州営業所



本社
株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス



鹿沼工場



株式会社エンプラス半導体機器



QMS株式会社



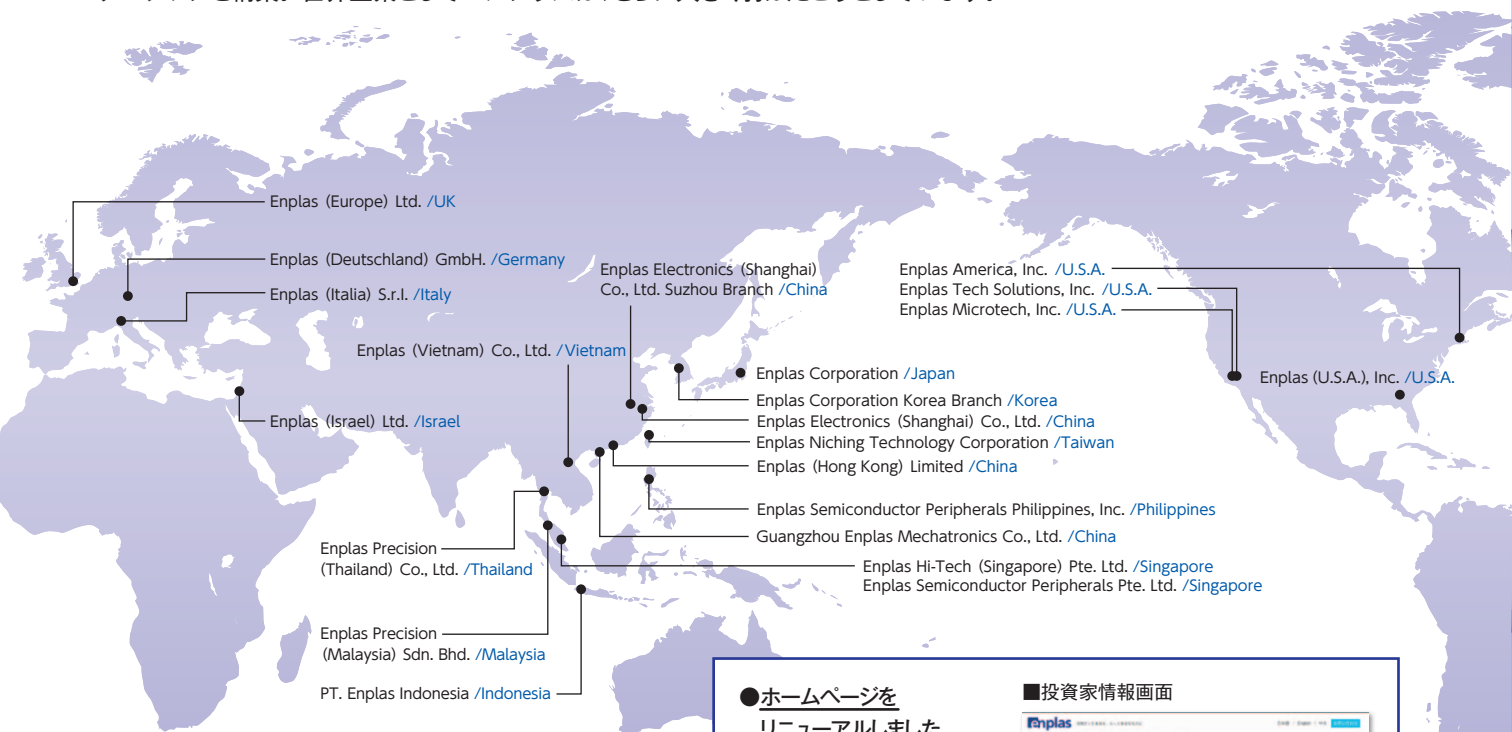
株式会社エンプラス研究所

グローバルネットワーク

■ 海外ネットワーク

技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

<http://www.enplas.com>

UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



● ホームページを リニューアルしました。

会社概要、財務情報をはじめ、
最新の情報をより見やすくし
ました。
ぜひご覧ください。

エンプラス IR 検索

■ 投資家情報画面

